

薬科学研究科 修士課程 指導計画

1.研究科（修士課程）概要		<p align="center">創薬分野における研究者・スペシャリストを育成</p> <p>本研究科の修士課程では、創造性・柔軟性に富み、創薬、生命科学等幅広い分野で広く深い知識と探求力を持ち、国際的にも活躍できる薬科学研究者及び医薬品の臨床開発並びに評価・承認審査の知識を持ち、その実際を理解し医薬品開発の発展に努め、薬科学の進展に寄与することのできる人材を養成します。</p> <p>本課程では、基礎薬学研究の根幹とも言える「化学系薬学」、「物理系薬学」、「生物系薬学Ⅰ」、「生物系薬学Ⅱ」、「医薬品開発」、さらに薬科学において新しい分野とも言える、医薬品の評価・承認のための「レギュラトリーサイエンス」の各領域において教育研究を行います。</p>	
2.取得可能学位		修士（薬科学） Master of Pharmaceutical Sciences	
3.指導計画		通常（2年）	科目等履修1年制短期コース （本学薬学科生対象）
			薬学科6年次に修士課程科目を履修 （15単位まで先行取得可能）
審査種別：		修士論文	修士論文
1年次 （薬学科 6年次）	前年度 （入学前）	指導予定教員の確認（原則、希望する指導教員への出願前の連絡をもとに、面接のうえで指導教員を決定） 研究科開講科目ガイダンス	卒業研究実施先指導教員の確認（原則、希望する指導教員への出願前の連絡をもとに、面接のうえで指導教員を決定） 科目等履修生ガイダンス
	4～7月	選択した領域及び他領域の「特論」の履修	
	4～2月	選択した領域の「特別研究1」及び「特別研究演習1」の履修	
	1月		大学院（修士課程）入学試験
2年次 （短期コ ース1 年次）	4～7月	選択した領域及び他領域の「特論」の履修	
	4～1月	選択した領域の「特別研究2」及び「特別研究演習2」の履修	
	1月下旬	修士学位論文審査願・論文要旨等の提出 修士学位論文審査委員会委員（主査・副査）の決定 [研究科委員会]	
	2月	修士論文の提出 ⇒ 修士学位論文発表会（口頭発表10分・質疑応答10分、最終試験）	
	3月	審査結果報告 ⇒ 修士論文可否判定・単位修了判定 [研究科委員会]	
	3月（修了式）	学位記交付（授与）	

薬科学研究科 博士後期課程 指導計画

1.研究科（博士後期課程）概要		高度な研究能力をもつ研究者を養成	
		<p>本研究科・博士後期課程では「高度薬科学研究者養成コース」と「高度実務薬科学研究者養成コース」の2コースを設け、高度な研究能力をもつ研究者を養成します。本課程の特色としては、それぞれのコースに、入学後3ヶ月間自らが立てた研究テーマと研究計画の適正性を検証する各領域の「選択課題検証実習」と医療現場で直面している問題を把握して研究課題を探索する「課題探索コースワーク実習」があり、その後選択した領域の「特別実験」及び「演習」を履修します。</p> <p>高度薬科学研究者養成コース： 医療の高度専門化・複雑化、医薬品開発のグローバル化等の状況下において、創造性・柔軟性に富み、創薬、医療、生命科学等幅広い分野で広く深い知識と探求力を持ち、高度薬科学研究者として国際的に活躍できる人材を養成します。</p> <p>高度実務薬科学研究者養成コース： 高度専門医療の知識と、先進的な薬物療法を創造するための研究能力と研究意欲を身に付け、最新の医薬品情報等を医師に提供して病院等における製剤業務、薬物の体内動態の解析業務、処方解析業務ならびに治験業務等に携わるなど高度の専門性を必要とされる臨床現場で活躍できる人材を養成します。</p>	
2.取得可能学位		博士（薬科学） Doctor of Philosophy（Pharmaceutical Sciences）	
3.指導計画		高度薬科学研究者養成コース	高度実務薬科学研究者養成コース
審査種別：		博士論文	博士論文
1年次	前年度（入学前）	入学後の予定指導教員の確認（原則、希望する指導教員への出願前の連絡をもとに、面接の上で指導教員を決定）、研究科開講科目ガイダンスの実施	
	4～7月	選択した領域の「選択課題検証実習」または「課題探索コースワーク実習」の履修	
	9月	研究計画書の提出（学生 → 指導教員）	
	10月～2月	選択した領域の「特別実験」及び「演習」の履修	
	2月下旬	研究進捗状況報告会	
2年次	4月～2月	選択した領域の「特別実験」及び「演習」の履修	
	2月下旬	研究進捗状況報告会	
3年次	4月～11月	選択した領域の「特別実験」及び「演習」の履修	
	11月下旬	学位論文審査願、学位論文要旨、論文目録等の提出	
	12月	論文提出資格審査会、審査委員会委員（主査・副査）の決定 [研究科委員会] 学位論文発表会（口頭発表20分・質疑応答20分） [研究業績発表会] 博士論文提出可否の決定 [研究科委員会]	
	1月～2月	博士論文（審査用）の提出 ⇒ 主査・副査による個別論文審査（最終試験）	
	3月	審査結果報告 ⇒ 博士論文可否判定・単位修了判定 [研究科委員会]	
	3月（修了式）	学位記交付（授与）	
	4月（翌年度）	博士論文（製本版）の提出 [学位授与後1ヶ月以内]	